

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

健康新聞

発行所
発行人

新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様（当協会の教祖）が、昭和二十五年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

優しさと奥床しさ

およそ現代の人間をみる時、最も欠除（けつじょ）しているものは、優しさと奥床（おくど）しさであろう。

まずここでは本教を主として書いてみるが、例えば自分の信仰がどれ程進み、身魂（みたま）がどのくらい磨（みが）けたかを知るには一つの標準があつて、これはさほどむずかしい事ではない。何よりも人と争う事を好まなくなり、優しさが湧（わ）き、奥床（おくど）しさが現れる。こういう心と態度になるこそ磨けたとみてよく、この点最も信仰の価値をみいだすのである。そのようになつた人にして一般から好愛され、尊敬され、無言の宣伝となるのである。

ところが今日の世の中を見ると、右のような優しさと奥床（おくど）しさがあまりに欠けている。何処（どこ）を見ても人に対しアラ探し、憎悪（ぞうお）、咎（とが）めだて等、誠に醜（みにく）い事が目につく。特に現代人の奥床（おくど）しさなどなさすぎるといつていい。何

事も利己一点張りで露呈（ろうてい）的で理屈がましく、人から嫌われる事などあまり気にかけないのは、自由主義が行き過ぎ我俚（わがまま）主義になつたとみるほかはない。最も見苦しいのは、他人の事となると暴露（ばくろ）的で、排斥（はいせき）主義で、人情の薄い事甚（はな）だしい。このような人間が増えるから、社会は暗く冷たく、人生の悲観者がますます増えるという訳で、近来自殺者の多いのもこんなところに原因があるのではなからうか。故に真の文化社会とは、英国の紳士道（しんしどう）や米国の博愛主義のごときを奉ずる人々が増え、社会道義がよく行われる事によって、気持ちのよい住みよい社会が生まれるのである。そうなつた社会こそこの世の天国としたら、天国は誠に手近いところにあるのである。

また別の面からみる時、今日観光事業が国策上最も緊要（きんよう）事と叫ばれているが、なるほど物的施設も大いに必要ではあるが、外客に好感を与える事は、より以上の必要事であろう。というのは外客に接する場合、優しさ、奥床（おくど）しさと、清潔の、この三つが揃（そろ）う事で、これこそ一文（いちもん）の金もいらない外客誘致（ゆうち）の最も有力なものとなる。そうして、こういう人間を作るその根本条件は、何といつても信仰であつて、本教はその方針のもとに邁進（まいしん）しつつあるのである。

ネパール

神経圧迫

全身の痛み 浄霊で良くなる

バクタプール支部

ビシュヌ・ボルサダ・ベレ（46）



私は二〇一五年初め、三十六歳の頃から腰や足に痛みがあり、全身に疲労感がありました。体全体が痛みますので、座ることも出来ませんでした。

原因も分からなかったため、病院でMRI検査をすると、「神経を圧迫しているから体に影響が出ている」と診断されました。私は、薬で治療をしたり、漢方薬を飲んだりしましたが良くなりませんでした。

私は以前、知り合いから浄霊のことを聞いていました。その当時は何も感じなかったのですが、この病気になるって初めて浄霊を受けてみようと思い、早速バクタプール支部に行きました。

浄霊を受けてすぐには大きな変化がなかったのですが、浄霊を受ける度に体調が良くなってきているのが分かり、三カ月程で回復していききました。私は嬉しくなり、その後も浄霊を続け、二〇一五年八月八日に入会しました。その後、日に日に良くなり、なんと一年後には完全に良くなりました。

明主様の御力は素晴らしいと思います、心から明主様に感謝しています。

(ネパール・バクタプール)

浄霊体験記

2ページ
3ページ

- 歩行、睡眠困難から短期間で職場復帰
- 母を助けた一心数々の奇跡を見る…

浄霊によって病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

椎間板ヘルニア

歩行、睡眠困難から 短期間で職場復帰

久留米支部
おおつば 卓 たかし
大坪 (49)



私は、祖父母や父母が新健康協会の会員であったため、生まれた頃から浄霊を受けて育ちました。

足腰の痛みが増し 歩くことが困難に…

これは平成八年の夏のことです。私は当時二十歳で仕事をしている時でした。右足全体が何となくだるい感じがして、幾分か痛みが増してきていたが、仕事には休まず行っていましたので、ほ

んど気にとめることもなく、楽観的に考えていました。

ところが、平成九年の二月になると、いよいよ足腰の痛みが増し、足を引かずしてしか歩けなくなってしまう。それでも軽い足の病だろうと思っていました。

そして、それから約一カ月後の三月、さらに痛みが増し、歩き方もおかしくなると、このまま会社に行けるのだろうか…と不安になりました。仕事に休み日は久留米支部に行き浄霊を受けていましたが、三月五日、遂に歩くことが困難となり、仕事にも支障が出るようになりました。会社からも「病院で診てもらった方がいい…」と言われ、病院で検査をしました。すると、「椎間板ヘルニア」との診断を受け、「手術をして全治三カ月…」と告げられました。

楽になるのを実感…

私は幼い頃から浄霊を受け、今までにも浄霊で救われてきました。そのため、この時も浄霊を続けていきたい…と思い、その日から毎日支部に行くようになりました。

ヘルニアの状態はひどく、とにかく支えがないと座ることも、立つことも、歩くことも出来ない状態でした。夜休む時は、体を伸ばせないで、最初の四日間くらいは、ほとんど眠れず苦しい状態でした。しかし、支部でも自宅でも祖母や家族から浄霊を受けていましたので、少しずつ眠れるようになり、体が楽になるのを実感出来ました。また、トイレに行くとき濃いお小水が出たので、それによって体内の毒素が排出されていると感じ、とても

有難い気持ちとなりました。

三月十六日、久しぶりにお風呂に入ることが出来ました。今までの状態では考えられないことでしたので、この時の気持ちよさはよく覚えています。

さらに状態は良くなった…

病院で診察を受けてから二週間経った頃には痛みが随分と楽になりました。夜も二、三時間は横を向いて、足を曲げて寝られるようになりました。

三月二十日には、久留米支部で健康新聞を地域に配布する行事があったのですが、私も参加することが出来、短期間でこれほど快復するとは…と大変有難く感謝しました。

こうしてヘルニアの症状が目に見えて良くなっているのが分かるようになりました。しかし、仕事への復帰はまだ出来そうにはなく、焦りが出ていました。今回のことで長期欠勤となり、会社には迷惑をかけてしまったので、思い切って辞職することにしました。それによって、安心して快復に専念出来るということが嬉しく、焦りもなくなりました。その後も続けて支部に通い浄霊を受けました。

四月三日、支部に行く時、今までは母に送り迎えをしてもらっていましたが、この日から自分で車を運転して行けるようになりました。母に迷惑をかけることなく良いことがとても嬉しかったです。おかげ様で痛みの方も日に日に楽になりました。

四半ば頃には社会復帰の見込みも出て来たので、職業安定所にも時折出かけるようになっていました。

五月に入り、一段と足腰の調子が良くなり、夜中に痛みで目が覚めること

も少なくなりました。その後は仰向けの姿勢で朝まで眠れるようになりました。

明主様に感謝申し上げ、自分に出来ることをたくさんしたいと思い、健康新聞の配布や支部での活動にも率先して参加しました。浄霊の御力の有り難さ、健康であることの有り難さをこれほど強く感じたことはありませんでした。

職場への復帰が実現…

すると、さらに状態は良くなつていき、社会復帰も現実のものになりました。あると思っていましたところ、とても大きなおかげを頂きました。

なんと、平成九年六月、わずか三カ月で新しい職場への復帰が実現したのです。仕事内容は自分に適しており、とてもやりがいのある仕事でした。さすがに一日体を使うと、腰や足にいくらかの痛みはありましたが、仕事を終え帰宅して浄霊を受けると、ぐっすり眠れ、翌朝にはすっかり快復して出勤することが出来ました。

休日には支部で浄霊を受け、新しい仕事も一日も休むことなく勤めることが出来ました。

私は手術や薬などに頼ることなく、浄霊を受け、椎間板ヘルニアから救われ、再就職することも出来ました。ヘルニアの診断を受けてから今年で二十八年が経ちますが、再発もなく、毎日元気に生活することが出来ています。

これからもこの素晴らしい浄霊を伝えていき、一人でも多くの方が支部に足を運ばれますよう、念願しています。誠に有難うございました。

(福岡県久留米市)

浄化作用

人間には体内の毒素(=不純物)を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出ます。溶けた毒素が鼻水やタンとなって排出されるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありますが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。



台湾

嚥下機能損傷・痛風・肩の痛み

母を助けたい一心
数々の奇跡を見る…高雄支部
楊世平（62）

二〇一三年に入会して早十二年、私はこれまでに数えきれないほどのおかげと奇跡をいただてきました。

浄霊で大丈夫なのか…

私の妻（陳怡芬）は、二〇〇六年に新健康協会に入会して、私より早く浄霊を体験しました。私は何年もの間、浄霊に疑問を持ち続けていました。そして時間が経つにつれ、浄霊の不思議さや驚きを経験し、やっと浄霊体験の機会を得ることが出来ました。

思い出すと妻は入会してから、子どもたちにも浄霊をするようになりました。あの時、私は不思議に思っ、なぜ浄霊なのか…それで大丈夫なのか…

と思い、妻に対して悪態をついたこともありました。しかし、そんな強い疑いを抱いていたにもかかわらず、子どもたちが浄霊で健康になっていく姿をいつも見ていました。そのため、何年ものこのような状況が繰り返されるうちに、「浄霊には何かがあるかもしれない…」と思い始めるようになりました。それでも私の心にはまだ謎と見える部分がありました。

二〇一二年、私は四十九歳の時にかしな病気にかかりました。ベッドで横になっても苦しくて、寝返りも出来なくて、話す力もなかったのです。もしかしたら死ぬのでは…と思った程です。妻は私の苦しんでいる姿を見て「浄霊を試してみる？」と声をかけ、しばらく浄霊をしてくれました。すると驚くほど早く楽になり、体はすぐ元の通りになりました。これが初めての浄霊体験でした。ただただ驚きでしかなかったのです…浄霊はこんなにも素晴らしい…と、私の心に深く刻まれました。

母を助けたい…

その頃、私の母親は二度の脳卒中で嚥下機能を損傷していました。浄霊の体験の驚きから、明主様の御教えや講話を読み始め、母親の助けになる情報を探しました。文中の浄霊の原理や無数の会員さんの浄霊の奇跡の体験談を読もうちに、「母親に浄霊をしたい」と思うようになりました。

そして二〇一三年一月十二日、私は入会しました。当初は浄霊を疑っていたのに、この時は浄霊で母を助けたい一心でした。ほぼ毎日、母親の介護施設に通って浄霊をするようになりました。

た。この時に薬も止め、母の体を冷やさないようにして一、二回浄霊をする

と感謝でしかありませんでした。明主様、誠に有難うございます。

私も救われた…

私は以前から痛風の症状があり、肩の古傷と聴力の低下が長年の悩みでした。

忘れもしない、初めて痛風が発作した時、激しい痛みで襲われ、病院で注射を受けると、すぐに痛みが消えました。その時は、痛風が発症したら注射一本で治るものだと考えていました。

しかし、半年後に再発した際には、注射は効かず、薬を飲む必要がありました。痛みが長引くようになって、発作の頻度も増していききました。また、三十年以上前、私は徴兵で軍隊に入った時に右肩の靱帯をひどく傷め、その後遠投は出来ず、力も入らなくなっていました。さらに、射撃訓練を指導していた際に耳を防護しておらず、聴力が酷く退化して、段々人の会話が聞き取りにくくなっていました。

入会後の二〇一三年十一月八日、痛風が再発し、十四日間にわたって痛みました。痛風の経験者なら、薬や注射での痛み止めなしに乗り越えることが、とても大変なことでは分かったと思いますが、しかし、浄霊のおかげで無事に乗り越えることが出来、健康も一層向上しました。その後、痛風の期間は徐々に短くなり、痛みも軽くなり、徐々に体調が良くなっていききました。

また、二〇一五年十月四日に右肩が激しく痛みました。夜になると、さらに激しくなり、息をするだけでも肩に激痛が走りました。明主様をお願いして浄霊を受けると、なんと一眠り出来るまでに良くなりました。そして

翌朝、奇跡的に痛みがなくなりました。前の夜はあんなに激しかったのに、翌日は快復していることに驚きました。すると、三十年前に傷めた肩も癒え、浄霊で、聴力も徐々に快復しました。

浄霊を通して浄化作用の過程を理解することが出来ます。この過程を継続して頑張れば、神様が私たちに教えて下さるメッセージが見えてくると思えます。「浄霊とは何と素晴らしい御力であるか…」。私たちは本当に幸せです。浄霊によって幸福に包まれているのです。

一人でも多くの方が、どうか躊躇せずに浄霊を受けてほしいです。
(台湾・高雄市)

浄 霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

自然農法

自然農法体験談



川棚支部
にしざか
西坂イマ子(78)

自然農法でお茶作り

私は自然農法を始めて四十以上になります。我が家の地域がお茶所なので、お茶作りはつきもの。何年も夫と慣行栽培でお茶作りに励んできました。

しかし、夫がお茶に消毒をする作業をしていたため、ひどいジンマシンが始め、長く続けは体に良くないと思いました。

消毒の怖さを知り、何か良い方法がないかと考えていた時、以前から新健康協会の川棚支部に通っていた私たちは、当時の支部の先生から自然農法の話聞き、「自然農法でお茶を作る方法がありますよ…」の一言で自然農法を志すきっかけを頂きました。

どうしたらうまくいくだろうか…

一日でも早く！と思い、お話を聞いたその日から少しずつ自然農法を始めましたが、お茶の木にダニが発生すると、葉っぱを全部刈り落としてしまっていたので、どうしたらうまくいくだろうかと悩んでいました。

そんな時に、佐賀県嬉野市でお茶を自然栽培している人の畑を見学に行きました。すると「自然にしていたら、ダニの発生もないですよ…」と言われ大きな衝撃を受けました。

「お茶畑にダニが発生しても、肉食性のダニが食べてくれる…」と教えて頂き、それからは安心して栽培を続けることが出来ました。

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てることで、自然力を生かす農法です。

今までにない美味しさ

自然農法で作るものは勿論体に良く、味もすばらしく美味しいです。初めて自然農法の白茶を食べた時は今までに味わったことのない美味しさを知り、感動致しました。

私は大根、ゴボウ、人参、ネギ等を自然農法で作っておりますが、もっとも自信があるのは「坂本里芋」です。ねばりのあるとてもおいしい里芋です！

今は落ち葉を集めて畑にまき、土の保温をしています。そして春になったら、腐葉土に混ぜています。また、これからは虫除けの草による相乗効果などもきちんと出来るように勉強していかなければいけないと思っています。

現在、お茶作りは息子に世代交代しましたが、息子も自然農法を実行しています。

この自然農法のお茶、お野菜は最も安心が出来る、おどろく程のおいしさです！多くの方々に自然農法の素晴らしさを味わって頂きたいと思っています。

誠に有難うございました。

(長崎県東彼杵郡)



西坂さんのお茶畑

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにすることができます。

小磯良平 《婦人》

藤椅子に体をあずけ、肘掛けに腕をもたれてゆつたりと寛ぐ女性。しかし姿勢は崩さず、白い襟、肩に張りのある整った装いです。胸元と袖口にあしらわれたフリルが華やかさを醸しつつ、柔らかな顔立ちの奥に静かな瞳が据わり、どこか凛とした佇まいを感じます。奥には窓外の風景でしよるか、緑の丘陵に建物と並んでいるようです。右下には「1974 R KOISO」の文字があり、昭和を代表する洋画家、小磯良平の作であることが分かります。

一九〇三(明治三十六)年、神戸市に貿易商の次男として生まれた小磯は、中学時代から油彩画や水彩画に親しみ、一九二二(大正十一)年に上京して東京美術学校西洋画科に入学します。国際港湾都市として整備され、異国の文化、文物に触れられる神戸において、旧三田藩家臣の家柄に生まれるという、恵まれたといわざるを得ない環境に育ったわけですね。美校の同期も、猪熊弦一郎、牛島憲之、岡田謙三、荻須高德、山口長男といった俊英が揃い、さらに三学年次の進級からは藤島武二教室に学んでおり、刺激にあふれた学生生活を送ったに違いありません。実際、在学中の第六回帝展で《兄妹》が初入選、第七回帝展では《T嬢の像》で特選となり、新聞でも「まだ在学中の天才」と報じられて注目され、首席で卒業しました。

《兄妹》は小磯が夏の帰省時に妹と弟を描いたもので、《T嬢の像》は又従姉妹を描いたものです。正確なデッサンをもとに、人物の姿を素直に描き出し、心洗われるような清々しい画面にまと

め上げる力は、学生時代に既に培われていたのではないかと思います。卒業後には二年間渡仏してさらなる学びを深めますが、小磯の関心は新思潮や流行のスタイルだけではなく、古典にも向かい、アカデミーが担うべき土台の重要性を実感することになりました。

戦後は東京美術学校の後身である東京藝術大学の教授を務め、小磯の抱く理想は制作だけでなく教育者としても実践されていきます。本作が描かれたと考えられる一九七四年は、退官して三年後ということになりますが、こうしたラフな画面でも、的確な描写で清廉な女性美を表す小磯の特質が一貫して保たれていることが感じられるのではないのでしょうか。

解説 松田愛子



晴明会館(美術館)のInstagramははじめました。



@SEIMEI_KAIKAN

晴明会館

「ゆめのうき世」前期展

期間…令和7年6月3日(火)～12月13日(土)

※晴明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535